

本書の読み方

A ハードウェアのトラブルシューティング

ここでは、ハードウェアに関するトラブルシューティングについて記載しています。電源が入らないなど、ハードウェアに関するトラブルが発生した場合をご覧ください。



B ソフトウェアのトラブルシューティング

ここでは、ソフトウェアに関するトラブルシューティングについて記載しています。インストール時のトラブルや、操作に関するトラブルが発生した場合をご覧ください。

本書の表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ 表記について

本文中の以下の事項の記載方法は、『ハードウェアガイド』／『ソフトウェアガイド』と同様です。

- ・キーの表記と操作方法
- ・連続する操作の表記
- ・コマンド入力（キー入力）の表記
- ・サーバタイプの呼び方

また、表記されているイラストや画面例は一例です。お使いの機種によって異なります。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記	
PRIMERGY BX300	BX300 / [BX300]	サーバ本体／本サーバ
PRIMERGY BX300 シャーシ	シャーシ／本シャーシ	
PRIMERGY BX300 サーバブレード	サーバブレード	
PRIMERGY BX300 スイッチブレード	スイッチブレード	
PRIMERGY BX300 マネジメントブレード	マネジメントブレード	
Microsoft® Windows® 2000 Server	Windows 2000 Server / Windows 2000	
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server		

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

目次

A ハードウェアのトラブルシューティング

A.1	シャーシについて	4
A.2	サーバブレードについて	4
A.3	スイッチブレードについて	5
A.4	ディスプレイについて	6
A.5	フロッピーディスクドライブについて	7
A.6	CD-ROM ドライブについて	8

B ソフトウェアのトラブルシューティング

B.1	Windows 2000 セットアップ中に自動ログオンされない	9
B.2	Active Directory 構築中に入力画面で停止した	9
B.3	インストール時にエラーメッセージが表示される	10
B.4	Windows 2000 インストール後にイベントログのエラーが発生する	11
B.5	メモリダンプが取得できない	12
B.6	システムを修復したい	12
B.7	リモートインストールに失敗した	13
B.8	SNMP サービスが起動していない	14

A ハードウェアのトラブルシューティング

本サーバを操作してみて、うまく動作しない場合やディスプレイにエラーメッセージが表示される場合、「故障かな？」と思ったときには、以下のことを確認してください。

なお、オプションの装置については、オプション装置に添付の取扱説明書を参照してください。

A.1 シャーシについて

シャーシに関するトラブルシューティングを以下に示します。

- **シャーシのメイン電源が入らない、シャーシ本体前面の電源ランプがつかない**

- ーシャーシ本体の電源ケーブルは、コンセントに接続されていますか。コンセントに接続してください。

- 『はじめにお読みください』を参照してください。

- ーシャーシのメイン電源は、電源ケーブルを接続後 2 分以上たったあとに入れていますか。2 分待ってから電源を入れてください。

A.2 サーバブレードについて

サーバブレードに関するトラブルシューティングを以下に示します。

- **サーバブレードの電源が入らない、サーバブレード前面の電源ランプがつかない**

- ーサーバブレードはシャーシのサーバブレードスロットに取り付けられていますか。確実に取り付けられていることを確認してください。

- ーシャーシのメイン電源が入っていますか。メイン電源を入れてください。

- ーシャーシの電源ケーブルは、コンセントに接続されていますか。コンセントに接続してください。

- 『はじめにお読みください』を参照してください。

- **サーバブレードの電源が入らない、KVM セレクトランプが点滅している**

- ーサーバブレードの搭載枚数が搭載制限を超えていませんか。『ハードウェアガイド シャーシ編 4.3 サーバブレードの取り付け／取り外し』を確認してください。

- **ハードディスクアクセス表示ランプがつかない**

- ーサーバブレードが故障している可能性があります。担当保守員に連絡してください。

- 担当保守員に連絡する場合は、『ハードウェアガイド シャーシ編 5.4 保守員に連絡するときは』を参照してから連絡してください。

- **ディスプレイにエラーメッセージが表示された**

- 『ハードウェアガイド サーバブレード編 5.2 エラーメッセージ』を参照してください。

● **LAN ドライバインストール時にエラーメッセージが表示される、LAN が正常に動作しない**

システム資源の競合が起きている可能性があります。いったんすべての LAN ドライバを削除し、システム資源の競合が起きていないことを確認し、システム再起動後に、再度 LAN ドライバをインストールしてください。

● **LAN アクティブリンク表示ランプがつかない**

サーバブレードのスロットの搭載位置とスイッチブレードのスロットの搭載位置が誤っている可能性があります。搭載位置を確認してください。

『ハードウェアガイド シャーシ編 4.3.2 LAN のシャーシ内接続』を参照してください。

● **LAN が正常に動作しない**

スイッチブレードが正しく動作していますか。スイッチブレードの設定を確認してください。

A.3 スイッチブレードについて

ネットワークへの接続で問題がある場合、まず配線をチェックして当該装置がネットワークに正しく接続されていることを確認してください。

それでも問題が解消されない場合は以下を参照してください。

■ スイッチインジケータの診断

● **スイッチブレードのポートに接続されている装置があるにもかかわらず、リンク LED が消えている**

- ー スイッチブレードおよび接続済み装置の電源が入っていることを確認してください。
- ー ケーブルがスイッチブレードと当該装置の両方に接続されていることを確認してください。
- ー ケーブルのタイプが適切であり、ケーブルの長さが指定範囲を超えていないことを確認してください。
- ー 接続済み装置のアダプタとケーブルの接続に不具合がないかを確認してください。必要に応じて不具合のあるアダプタまたはケーブルを交換してください。
- ー すべてのシステムコンポーネントが適切に取り付けられていることを確認してください。ネットワークケーブルが正常に機能しない場合は、ケーブル以外のすべてのコンポーネントが正常に機能している環境でテストしてください。

■ 管理インタフェースへのアクセスに問題がある場合

スイッチブレードの管理インタフェースへのアクセスは、Telnet、Web ブラウザ、SNMP ベースのネットワーク管理ソフトウェアを使用して、接続先ネットワーク内のどこからでも行えます。

管理インタフェースへのアクセスに問題がある場合は以下のことを確認してください。

● **Telnet、Web ブラウザ、SNMP ソフトウェアを使用してスイッチブレードに接続できない**

- ー 有効な IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイをエージェントに設定していることを確認してください。

- タグ付き VLAN グループの IP アドレスでエージェントに接続する場合、管理セッションが送信フレームに適切なタグを含めていることを確認してください。
- スイッチブレードに対して有効なネットワーク接続であること、および使用しているポートが無効になっていないことを確認してください。
- 管理ステーションとスイッチブレード間のネットワークケーブルを確認してください。
- Telnet を使用しての接続ができない場合、すでに 4 つのアクティブセッションが開かれている可能性があります。少し時間をおいてから、再度接続を行ってください。
- スパニングツリーを使用していますか。ケーブルの接続後、30 秒以上待ってから接続の確認をしてください。

● マネジメントブレードのシリアルポート接続で、スイッチブレードの設定画面にアクセスできない

『ハードウェアガイド マネジメントブレード編』を参照して、シリアルポート、および端末エミュレータの設定が正しいことを確認してください。

● パスワードを忘れた、または紛失した

『ハードウェアガイド スイッチブレード編 4.3 コマンドの詳細説明』の「■ boot-system」に記載されている「boot system」コマンドを使用して、"Factory_Default_Config.cfg" ファイルを復元してください。

● ネットワークはつながっているのに、Web ブラウザで管理画面を開けない

- マネジメントブレードのコンソールリダイレクション機能を使用した状態で、スイッチブレードのリブートをしましたか。コンソールリダイレクションをいったん終了してください。
- マネジメントブレードのコンソールリダイレクション機能を使用した状態で、メイン電源を入れましたか。コンソールリダイレクションをいったん終了してください。

■ その他

● スイッチブレードと接続したスイッチとの間で通信ができない

LAN ケーブルをネットワークループの生じる結線で接続していませんか。接続を見直すか、接続するスイッチとの間でスパニングツリーの設定を有効にしてください。

A.4 ディスプレイについて

ディスプレイに関するトラブルシューティングを以下に示します。

● ディスプレイの電源が入らない

ディスプレイの電源ケーブルをコンセントに接続してください。
『はじめにお読みください』およびディスプレイの取扱説明書を参照してください。

● 画面に何も表示されない

- 画面を表示したいサーバブレードの KVM セレクトランプが緑色に点灯していますか。KVM セレクトスイッチを押してください。
- ディスプレイのケーブルが正しく接続されていますか。接続されていない場合、サーバ本体の電源を切ってからケーブルを正しく接続し直してください。
『はじめにお読みください』を参照してください。

- ーディスプレイのブライトネスボリュームとコントラストボリュームが正しく調節されていますか。調節されていない場合、正しく調節してください。
- ーディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- ーメモリのシステム領域が異常の可能性があります。担当保守員に連絡してください。

● **入力した文字が表示されない、マウスカーソルが動かない**

- ーキーボードおよびマウスが正しく接続されていますか。接続されていない場合、サーバ本体の電源を切ってからケーブルをサーバ本体に正しく接続してください。
- 『はじめにお読みください』を参照してください。
- ーKVM セレクトで他のサーバブレードを選択していませんか。KVM セレクトスイッチを押してください。

● **画面が揺れる**

- 近くにテレビやスピーカなどの強い磁界が発生するものがある場合は、それらをディスプレイから離して置いてください。
- また、近くで携帯電話の着信を受けると、揺れることがあります。ディスプレイの近くで携帯電話を使用しないようにしてください。

A.5 フロッピーディスクドライブについて

フロッピーディスクに関するトラブルシューティングを以下に示します。

● **フロッピーディスクの読み書きができない**

- ヘッドが汚れていませんか。汚れている場合、クリーニングフロッピーディスクでクリーニングしてください。
- 『ハードウェアガイド シャーシ編 5.2 お手入れ』を参照してください。

● **フロッピーディスクへの書き込みができない**

- ーサーバブレードに正しくフロッピーディスクドライブが接続されていますか。接続されていない場合、接続し直してください。
- 『はじめにお読みください』を参照してください。
- ーヘッドが汚れていませんか。汚れている場合、クリーニングフロッピーディスクでクリーニングしてください。
- 『ハードウェアガイド シャーシ編 5.2 お手入れ』を参照してください。
- ーフロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか。
- ライトプロテクトを書き込み可能な位置にしてください。

A.6 CD-ROM ドライブについて

CD-ROM ドライブに関するトラブルシューティングを以下に示します。

● データの読み込みができない

- サーバブレードに正しく CD-ROM ドライブが接続されていますか。接続されていない場合、接続し直してください。
- 『はじめにお読みください』を参照してください。
- OS 上で正しく認識されていますか。設定を確認してください。
- CD-ROM ドライブに添付の説明書を参照してください。
- CD を正しくセットしていますか。セットされていない場合は、CD のレーベル面を正しくセットしてください。
- CD が汚れていませんか。汚れていたら、乾いた柔らかい布で汚れを落としてください。
- CD に傷がついていたり、反っていませんか。傷ついていたりする場合は、CD を交換してください。

● ユニットが正常に動作しない

- ケーブルが正しく接続されていますか。接続されていない場合は、ケーブルを正しく接続してください。
- 『はじめにお読みください』および CD-ROM ドライブに添付の取扱説明書を参照してください。

B ソフトウェアのトラブルシューティング

ソフトウェアに関するトラブルシューティングを以下に示します。

B.1 Windows 2000 セットアップ中に自動ログオンされない

ServerStart では、OS のインストール時に添付されているアプリケーションや、ハードウェアのユーティリティも同時にインストールされます。インストールやその後の再起動およびログオンは、必要に応じて自動的に行われますが、まれに自動ログオンが行われず、ログオン画面が表示される場合があります。この場合、あらかじめインストール前に設定したユーザ名、パスワードでログオンしてください。ログオン後、セットアップ処理が継続されます。

B.2 Active Directory 構築中に入力画面で停止した

Active Directory の構築中に自動インストールが停止してしまった場合は、最初にエラーの内容を確認してください。自動インストールでは、パスワードが必要な場合は、DNS への登録に失敗した場合などに停止することがあります。環境を確認して手動でインストールを続行してください。問題が解決しない場合は、[キャンセル] をクリックして、OS インストール終了後、手動で Active Directory の構築を行ってください。

Active Directory のインストールウィザードを手動で続行した場合は、インストールウィザードが終了すると、次のメッセージが表示されます。

“Active Directoryのインストールウィザードによって行われた変更を有効にする前にWindowsを再起動する必要があります。”

このメッセージが表示された場合は、[再起動する] をクリックして、インストールを続行してください。

B.3 インストール時にエラーメッセージが表示される

ServerStart を使用してインストールを行った場合に、次のエラーメッセージが表示される場合があります。該当するエラーの対処方法を確認してください。

- **“WzDiskAdmin: Partition detected! Please delete all partition before starting Configuration” と表示される**

再度ガイドモード、または事前設定モードを実行し、ディスクウィザードで、「表示されているディスクに存在する、全てのパーティションを削除する」にチェックを付けてください。

- **“WzRaid: RAID arrays detected! Please delete all RAID arrays before starting Configuration” と表示される**

作成した ServerStart フロッピーディスクを使用して、RAID ウィザードで、「既存の RAID アレイを削除する」にチェックを付けるか、「既存のアレイを使用する」を選択してください。

- **CD-ROM からのファイルコピー後の再起動で “Operating System not found” と表示される**

Active フラグが指定されている可能性があります。確認してください。

- **インストール中に “Missing Operating System” と表示される**

インストール先パーティションサイズが大きすぎる可能性があります。インストール先パーティションサイズを正しい値に指定してください。

インストール先パーティションサイズの詳細については、『ソフトウェアガイド 2.3.2 インストール先パーティションサイズについて』を参照してください。

- **事前設定のインストール中に “Error 1920. Service (PXE Services) failed to start” と表示される**

事前設定（PXE サーバ）をインストールしているシステムがネットワークに接続されていない可能性があります。LAN ケーブルの接続を確認し、[再実行] をクリックしてください。

B.4 Windows 2000 インストール後にイベントログのエラーが発生する

Windows 2000 のインストールが完了後、イベントビューアに次のイベントが表示される場合があります。該当するイベントの対処方法を確認し、対処してください。

ID	説明	原因と対処方法
62	このコンピュータは、フォレストのルートにあるドメインの PDC です。net コマンド「net time /setsntp:<サーバー名>」を使って、外部タイムソースから同期するように構成してください。	<p>原因： コンポーネントとして NTP を選択すると発生します。</p> <p>対処方法： ServerStart では、NTP サーバを指定する設定箇所がないため、自動構成できません。OS インストール後に、次の手順でタイムサーバの指定を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 別マシンで SNTP サーバを稼働させます。 仮に SNTP サーバのアドレスを <172.22.78.246> とします。 コマンドプロンプトで次のように入力します。 <pre>net time /setsntp:172.22.78.246 w32tm -s 172.22.78.246</pre>
1000	ユーザまたはコンピュータ名を判断できません。戻り値は「1722」です。	<p>原因： 優先 DNS サーバのアドレスが無効であるか、接続できない場合に発生する可能性があります。</p> <p>対処方法： 次の手順でインターネットプロトコル (TCP/IP) プロパティの DNS アドレスを修正してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「マイネットワーク」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。 「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックして、「プロパティ」をクリックします。 「優先 DNS サーバー」ボックスに正しい DNS アドレスを入力します。

B.5 メモリダンプが取得できない

メモリダンプファイルが作成されない場合は、以下の方法で対処します。

● 正しい設定を行う

メモリダンプを取得できない場合、ページングファイルの設定とメモリダンプファイルの設定を確認してください。

設定方法については、『ソフトウェアガイド 4.1 メモリダンプ／ページングファイルの設定』を参照してください。

● システムドライブ以外にメモリダンプを取得する

システムドライブ (c:¥) にメモリダンプを取得している場合は、システムドライブ以外にメモリダンプを取得するように設定を変更します。

設定方法については、『ソフトウェアガイド 4.1 メモリダンプ／ページングファイルの設定』を参照してください。

システムドライブしかない場合や、どのドライブにも空き容量がない場合には、次のどちらかの方法で対処します。

- ・ ハードディスクを増設する
- ・ より大きな容量のハードディスクへ交換する

● 搭載メモリを減らしてメモリダンプを取得する

搭載メモリサイズに関係なくメモリダンプを取得する場合には、搭載メモリをメモリダンプ取得可能なメモリ容量に減らしてメモリダンプを取得します。

搭載メモリを変更した場合は、メモリダンプの設定を確認してください。

設定方法については、『ソフトウェアガイド 4.1 メモリダンプ／ページングファイルの設定』を参照してください。

● デバッグ情報の書き込みの種類を変更する (Windows 2000 Server の場合)

メモリダンプを取得できない場合、ボリュームサイズの空き容量の範囲内に収まるデバッグ情報の書き込みの種類を選択してください。

上記対処ができない場合、ハードディスクを増設するなどの方法で対処します。

B.6 システムを修復したい

万一、システムファイル、システム構成、およびスタートアップ時の環境変更などが損傷を受けた場合は、インストール時に作成した修復ディスクに保存されている修復情報を使ってこれらを再構築できます。

● Windows 2000 の場合

- ・ 用意するもの
 - － Windows 2000 Server の CD-ROM
 - － あらかじめ作成した Windows 2000 システム修復ディスク
 - － Windows 2000 Server ファーストステップガイド

- 1 「Windows 2000 Server ファーストステップガイド」に従って、Windows 2000 Server のセットアップを開始します。
- 2 Windows 2000 Server セットアップの「セットアップへようこそ」画面で、【R】キーを押して修復を選択します。
- 3 セットアップ画面のメッセージに従って、システムを修復します。

POINT

- ▶ システム修復時の注意点
 - ・ システムの修正を行うと、情報によっては新規インストール状態になってしまう場合があります。システムの修復後、再設定する必要があります。
 - ・ システムファイル、システム情報の損傷が大きい場合は、Windows 2000 Server の再インストールが必要になる場合があります。
 - ・ ファイルの修復中に、「ファイル XXXXXX.XXX は Windows 2000 のインストール時にコピーされた元のファイルではありません」というメッセージが表示されます。その場合、【Enter】キー、もしくは【A】キーを押してファイルを修復してください。

B.7 リモートインストールに失敗した

リモートインストールに失敗した場合は、以下の項目を確認してください。

● サービスの確認

DHCP、PXE Service、TFTP Service が動作していることを確認します。

確認方法については、『ソフトウェアガイド 3.5 リモートインストール』を参照してください。

● TFTP の設定

TFTP Service サービスを利用するためには、TFTP フォルダに Guest アカウントを追加し、フルコントロール権限を与える必要があります。

設定方法については、『ソフトウェアガイド 3.5 リモートインストール』を参照してください。

● ネットワーク起動設定の確認

サーバがネットワークブート起動（PXE）に対応している必要があります。

設定方法については、『ハードウェアガイド サーバブレード編 第 6 章 技術情報』を参照してください。

● MAC アドレスの確認

入力した MAC アドレスが、サーバの MAC アドレスかどうかを確認します。

MAC アドレスの確認方法については、『ハードウェアガイド サーバブレード編 第 6 章 技術情報』を参照してください。

● LAN ケーブル接続の確認

指定した MAC アドレスに対応する LAN カードに LAN ケーブルが接続されていて、ネットワークがつながっていることを確認してください。

B.8 SNMP サービスが起動していない

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）がインストールされているにもかかわらず、SNMP サービスが起動していない場合は、以下の方法で SNMP サービスを起動してください。

- 1** 「スタート」ボタン→「コンピュータの管理」の順にクリックします。
- 2** 「サービスとアプリケーション」メニューから「サービス」を選択します。
- 3** 詳細情報で「SNMP Service」を選択します。
- 4** 「操作」メニューから「開始」を選択します。

POINT

- ▶ OS 起動時に毎回自動的に開始するようにするには、詳細情報で「SNMP Service」をダブルクリックし、「SNMP Service のプロパティ」画面で「スタートアップの種類」を「自動」に設定します。

PRIMERGY BX300

トラブルシューティング
B7FH-1781-01-00

発行日 2003 年 6 月
発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。